

民間企業等職務経験者職員の体験談(平成28年度採用)

職種:土木

所属:砂防課

現在、携わっている仕事内容を教えてください。

急傾斜地(がけ地)崩壊対策、地すべり対策事業に係る予算管理と執行管理

上記事業に関する国(国土交通省)との協議

土砂災害警戒情報システム の管理・改修、広報活動

土砂災害警戒情報の発令に係る補足情報(どこの地点に危険が高まっているかが視覚的に判断できるもの)

山梨県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

Uターン・Iターンの方はその理由もお聞かせください。

妻が山梨県出身であること、民間企業に勤務していた時に山梨県の仕事を担当していたことから、山梨県を訪れることが多く、その際にこの県で子育てができればいいなと感じたことです。

県職員になる前に抱いていた県職員・県庁のイメージと違ったことはありませんか。

私自身は民間時代に県の仕事を請負う機会が多かったため、県庁等にも頻繁に出入りしていたため、特にはありません。

県職員になる前に抱えていた不安は何ですか。また、仕事をする中でその不安はどうなりましたか。

仕事を受ける側から仕事を発注する側となるため、発注する側としてどのような管理をすることが必要なのかが、よくわからず曖昧であったことが不安でした。しかし、新社会人でなく社会人経験の長い(14年)私にも、丁寧に上司や諸先輩方に教えていただいたことで、不安は解消されていきました。

これまで業務に従事したなかで、最も大変だったことは何ですか。

業務を受ける側の事情や背景を知っているため、きちんとした指示や意見を相手に伝えることが、当初は苦労しました。

職場の雰囲気はどうか。また、上司や先輩はどんな方ですか。

雰囲気はとても明るく、周りを気遣ってくれる暖かい職場です。上司や先輩方は皆、仕事のことばかりではなく、時にはユーモアを交えて話しかけたりしてくれるなど、公私ともに信頼できる方ばかりです。

県職員になってよかったと思うこと(うれしかったこと)は何ですか。

職場全体が各個人の家族を一番に考えてくれることです。(民間の時は仕事一番という考え方が強い感じであったため)

民間企業との違いを感じた時はどんな時ですか。

県民の納める税金から成り立っている公務であるため、どんな些細なことにも説明責任があるというところです。

民間企業での経験が役に立ったできごとを教えてください。

5つ目の質問の回答の逆になりますが、業務を受ける側の立場にも立って業務を行うこ

とができるというところです。

受験生へのメッセージ(受験対策等)をお願いします。

現在、仕事をされている方は、試験勉強の時間を取るのも中々難しい状況かと思います。私自身も落ち着いて机に向かって勉強する時間はほとんど取れませんでした。そのため、隙間時間(通勤・出張時の移動時間など)を有効に活用しました。移動時間などに参考書を眺めるだけでも随分違うと思いますので、頑張ってみてください。